

法人(事業所)理念		共に、生きる　共に成長し共に生きていくといった理念を大切にしています		
支援計画		放課後等デイサービス音希では、本人主体の個別支援計画を作成し5領域に基づく支援プログラムを組み合わせた活動を行っています。何気ない日常の中で一人ひとりに必要な支援で日々生きやすく存分に楽しむ手助けを行っています。		
営業		平日　午前9時30分から午後6時30分	送迎実施の有 無	あり
		学校休業日　午前9時から午後6時		
支援内容				
本人支援	健康・生活	●心身の健康状態の把握（来所時の検温、支援中の健康観察、発作状況） ●意思の表出が難しい児童には、表情や普段と違う様子を確認しながら、健康管理を行っています。 ●生活リズムの安定（食事やおやつの摂取、睡眠の安定、健康な身体の維持、長期休暇中の規則正しい生活の維持） ●本人の発達段階と生活環境を把握し、繰り返しの支援で無理なく身につくことを増やしていきます。		
	運動・感覚	●体操（ふれ愛体操でボディイメージを身に付けます。） ●音楽療法（音楽に合わせて身体動かし、たくさんの楽器に触れて楽しみます。） ●姿勢の保持(補助手段を活用し身体に適した姿勢で過ごします。) ●感覚に特性がある児童へ配慮します。		
	認知・行動	●一人ひとりの理解できる範囲、理解の方法を把握し、活動を豊かにすることや、生活の中での困難さや生きづらさを軽減していきます。 ●季節の変化への興味や、音楽や色々な素材を用いた制作などで感性を育てていきます。		
	言語・コミュニケーション	●言葉がある場合も、そうでない場合も本人の伝えたい事が表出されるよう、本人の伝えたいことの把握から始まり、どのような内容にも共感的に対応し、伝わった、わかってもらえたという経験を積み重ねることで自己肯定感を高めるようにしていきます。 ●一人ひとりの児童に合った言葉だけでなく、絵カード・身振りや手振りを使ったコミュニケーションで支援します。 ●絵本や紙芝居の読み聞かせなどで言語の獲得や聞く力をつけていきます。		
	人間関係・社会性	●多様な経験を通して自分自身で行動する力を養っていきます。 ●見立て遊びやごっこ遊びなどを通じて他者との関わりを形成していきます。 ●様々な人との関わりで社会とのつながりを広げていきます。 ●公園、図書館、児童館、美術館、博物館などの社会資源を活用し、地域と関わっていきます。		
家族支援		●日ごろから本人や家族と密接な関係を保ち、悩みを共有しながら、協働して解決に向けられるようにします。 ●発達状況や特性の理解に向けた相談の援助を行います。 ●送迎時に、家庭や学校の様子を共有し、後の療育活動での関わりに活かします。		
移行支援		●放課後等デイでの生活実態一人ひとりに適した学校卒業後の生活の場を提案します。 ●支援機関と連携を取り継続的なサポートを受けられるよう環境を整えます。		
地域支援・地域連携		●地域と連携した防災訓練や緊急ネットワークを作り、災害時の対応力を高めます。 ●広域避難場所である公園、小学校の行事に参加し協力体制(顔の見える関係性)を築いていきます。		
職員の質の向上		●定期的な職場内研修(療育、医療ケア、虐待など)を設けて知識と実践的なスキルを学んでいます。 ●資格取得のための補助や学習支援を行い職員の専門性を高めています。		
主な行事等		●四季を通じて野菜や花などの植物を育て、収穫体験やクッキングをしたり、季節を感じる制作を行っています。 ●季節の行事：お花見、夏祭りや運動会遊び、紅葉狩りや雪遊びなどで楽しんでいます。		